

知道 CHIDO-KAIHO 会報

74

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校校内
発行人 西野虎之介
発行日 平成21年5月15日
通巻 第74号
メール chidou@world.odn.ne.jp

目次	特集	創立130周年記念事業総括	2
	一高だより	校長あいさつ	4
	同窓会・支部だより	63年卒・二七会 ほか	6
	上海だより		7

水戸一高創立130周年記念事業終了のご挨拶

知道会会長 西野 虎之介

このたび、知道会第22回代議員会議を開催し、母校創立130周年記念事業終了報告をなすに当たり、水戸一高教職員各位ならびに本会員諸兄姉、実行委員会関係者の皆様に終始心温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがたく厚くお礼を申し上げます。

お陰をもちまして、記念事業は総て滞りなく無事に終了することができました。

記念式典は水戸一高の先生、生徒の自主的な運営で茨城県民文化センター大ホールを埋め尽くしました。中でも、日立製作所フェロー神原秀記氏の記念講演「明日を担う諸君へ」は生徒への感動的なメッセージとして強く心に残ったことと思います。

なお、水戸プラザホテルでの祝賀会も想定を上回る600人余のご出席を頂く盛況で、不行き届きの点は同窓に免じてお許しを願います。

また、皆様のご寄付は当初目標を大きく上回る3,800万円に達し、記念事業計画に沿って有効に活用させて頂きました。日本芸術院会員能島



征二氏による「歩く会」第60回記念モニュメント「わが道をゆく」の制作、体育館緞帳の新調、水戸一高30年表の作成、校歌などを収録したDVDの制作等に支出されました。この内、モニュメント銘題「わが道をゆく」は終戦後の校是・校歌が使用禁止されていた時代に、先輩たちがこども口にした名言で、創立100周年記念歌「誰も歩いたことのない道を」と軌を一にするものです。

これらどの内容を見ても母校の歩んできた歴史の重みを再発見・再認識させられるものとなりました。このたびの記念事業は本校に学ぶ後輩たちが、これまで受け継がれてきた伝統を更に未来につなげてゆく絶好の機会であったと受け止めております。

わが知道会は先輩各位のご厚情を励みとして、これからも水戸一高、奨学会と力を合わせて母校の更なる発展に寄与して参りたいと希っております。今後とも知道会へのご支援・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

130周年記念事業のあゆみ

<平成17年>

5月28日 水戸一高創立130周年記念事業
実行委員会設置

<平成18年>

2月 2日 能島先生にモニュメント制作打診
4月25日 第1回記念事業委員会
7月 3日 第2回記念事業実行委員会
9月12日 第3回記念事業実行委員会

<平成19年>

3月 7日 第1回募金委員会
3月28日 130周年記念事業実行委員会
7月 9日 水戸一高130周年事業委員会

<平成20年>

1月23日 祝賀会会場決定
4月 4日 水戸一高吹奏楽団がCD用演奏
4月 5日 130周年事業委員会
4月14日 募金委員会
4月15日 校内130周年記念事業実行委員会
4月25日 130周年事業実行委員会
5月24日 代議員会議
6月12日 130周年記念親睦ゴルフ大会
9月 1日 130周年記念親睦旅行会
9月13日 130周年記念事業合同委員会
9月24日 モニュメント除幕式
10月24日 緞帳完成
10月15日 130周年事業委員会
10月25日 130周年記念事業合同委員会
11月15日 幹事会・代議員会議
11月22日 130周年記念式典・祝賀会



11月22日 創立130周年記念式典で挨拶する西野会長（県民文化センター大ホール）



除幕式

感謝と反省 未来への展望

事業委員会 沼尻 滋



今般の母校創立130周年記念事業に対しては、卒業生の皆様、知道会員に多大なる物心両面のご協力を賜り、全事業計画が大過なく無事最高美を飾れましたこと、まずは心から感謝申し上げます。企画3年に亘る諸課題を1日に集約する大変さを心身に感じましたが、終わり良ければ全て良しの諺どおり、事業完了できましたこと、感謝の一言「ありがとうございました」です。

当初の目標3,000万円を想定した事業も、諸般の事情により拡大し、二次目標3,300万円の募金総額を定めて計画を立案しましたが、3,800万円の大台に達する強力なご支援を賜り、このご支援に沿った更なる事業を執行することができました。

事業委員長として重責を果たしたという安堵感とともに、次の140周年、さらに知道会の存続する限り、会員の皆様の母校への惜しまぬ援助は永遠に続くものと確信いたしました。次の企画事業は、その時代時代に即したものであるべきであり、その計画実行はその時代の担当する者の知力・行動力に帰することでしょう。

今回の事業（募金・事業・祝賀等）については賛否両論はありましたが、代議員会での承認のもと実行に至り、感動・感謝で達成感に一人浸っておりま

す。本当にありがとうございました。

特に、祝賀会の総括として尽力してくれた故鯉淵俊郎君（S44卒）と記念事業担当となった各学年幹事の諸君に心から感謝申し上げます。また、記念事業の柱であった年表やCD作成、そして素晴らしい式典の企画運営に奔走していただいた小田倉先生、鈴木先生、高橋先生はじめ学校職員の皆様にお礼申し上げます。

なお、今回の事業執行の責任者として、次の事業計画の参考になるかと考え、いくつかの反省点を書き記しておきたいと思います。

1. 目標以上の募金を集めながら、次の10年、20年のことを考慮した財源を残せなかったこと。
2. 練りに練った祝賀会の一連企画も、酒席での披露で十分その意図を発揮できなかったこと。
3. 祝賀会費と年会費の納入が重なり、会員の皆様のご負担を複雑化してしまったこと。
4. 事業の執行段階で、多タイレギュラーも生じたことから、やはり会員総意に基づく決定を重視し、オープンかつ組織的な対応を原理原則とすべきこと。

最後に、今回の事業の企画・運営に呻吟する中で、つくづくと感じた「同窓会のあり方」について蛇足ながら書き加えたいと思います。

- 知道会とは、会員であることの名誉と誇り、同窓の絆と親睦、母校への愛と奉仕の浪漫を持ち続けていく人達の集まりではないか。
- 同窓生個々には上下関係はあっても、会員としては平等であり、老人の意見や若者の感覚に違いはあっても、それぞれの考えを尊重しながら運営していくべき組織であるべきである。
- 名前ばかりの役員より実行力のある真のボランティア役員を中心に、若い人

達も集まり老若協働できる知道会へ早急に変革していくべきである。

ありがとうございました。感謝。合掌。

母校への想いに感激

募金委員会 田中 功



昨年11月23日、母校水戸一高の創立130周年記念行事にあたりましては、会員皆様方の絶大なご協力により無事成功裡に終了いたしましたことを、まずもってご報告申し上げます。

今回、募金委員長という大役を仰せつかり、目標額3,000万円ということで、この大不況の下どうなるか不安を抱えてのスタートでした。会員個人の方々、また各組織の知道会へのお願いを委員メンバーそれぞれ手分けして始めました。各銀行を始めとする職域知道会、鹿行・大宮・太田・岩間・水戸等の各地域の知道会へ出向いてのお願い、また各学年や運動部へも声をかけたりと、各委員が走り回って会員の皆様方のご理解をいただき、目標額を上回る3,875万円を集めることができました。なかでも、亡くなられた会員のご家族の方々からご協力をいただきましたことは、改めて水戸一高卒業生の母校への想いの強さをしみじみと感じました。

この力をこれからの母校発展にお寄せくださるようお願い申し上げます、お礼の挨拶とさせていただきます。

130周年記念事業決算報告

(単位：円)

	内容	金額	備考
募 金 収 入	会員	31,102,953	
	団体	7,647,500	
	(団体内訳) 一般企業	(2,145,000)	金融機関・会社等
	一般個人	(90,000)	個人事務所等
	一般団体	(5,412,500)	学年・地域・職域・教職員(現・元)等
	計	38,750,453	
事 業 支 出	学校側		
	CD制作費	2,963,740	
	年表・絵葉書等	1,491,315	
	式典会場補助	200,000	
	知道会側		
	募金趣意書	1,550,133	
	通信費	1,659,422	
	振込用紙印刷	280,439	
	郵便振替手数料	298,780	
	モニュメント像一式	16,966,316	本体及び工事費等
	体育館緞帳	4,830,840	
	祝賀会しおり	210,000	当日のパンフレット
	祝宴催し物等	2,168,539	担当学年演出等
	報道	1,786,050	茨城新聞・茨城放送
	記念野球大会賛助	563,525	
	記念ゴルフ大会補助	131,500	大洗ゴルフ
	祝賀会補助	211,311	
	記念品等郵送料	285,000	
	募金者芳名簿・整理	1,929,711	業者委託
実行委員会諸経費	603,178	秋高会招待含む	
事務費	458,225	パート代・CD発送代等	
	計	38,588,024	



新調された体育館緞帳

募金エピソード 「天国からの募金」

- ◇36年卒、故長谷川勇人様の奥様から、「主人もこの記念の日を天国から祝っているでしょう」と60口という大口ご寄付を頂きました。有難うございました。
- ◇昭和20年(中)、故渡辺昌吾様の奥様から、20口を頂きました。有難うございました。
- ◇この他にも、30数口という多くのご家族から、天国からのご寄付を頂戴しました。
- ◇また、ご父兄から「記念すべき年に、孫が在学しているのは目出度い!」「水戸一高卒業生の方ではないが、寄付させて下さい。」といったご家族(祖父・父兄)から6口のご寄付を頂きました。

<水中・水戸一高 検定問題>

【問題1】 本校が火事になったのは何回でしょう?
①1回 ②2回 ③3回

【問題2】 明治45年5月26日に竣工された建物は、次のうちどれ?
①知道会館 ②至誠寮 ③江山閣

【問題3】 江山閣が、現在の位置武石浩波銅像下に再建築されたのはいつでしょう?
①昭和30年 ②昭和35年 ③昭和40年

【問題4】 昭和4年に架設された本城橋は、あるところで使用されていた構造物(トラス)を使っています。さて、次のうちどこで使用されていたものでしょう?
①北海道 ②四国 ③九州

【問題5】 現在の本城橋の長さは何メートルでしょう?
①24m ②31m ③43m

【問題6】 過去、本城橋から飛び降りた人は?
①いる ②いない

【問題7】 昭和25年に本校初めて入学した女子生徒は何人?
①1人 ②2人 ③3人

【問題8】 昭和49年の女子合格者数は50人を超えました。では、この学年で、3年間ずっと女子と同じクラスだった男子生徒は何人いるでしょう?
①57人 ②47人 ③37人

【問題9】 昭和49年入学生で、不幸にも一度も女子生徒と同じクラスになれなかったのは何人いるでしょう?
①46人 ②36人 ③26人

【問題10】 昭和24年第一回歩く会のコースは次のうちどこだったでしょう?
①取手コース ②勿来コース ③小山コース ④矢祭山コース

【問題11】 昭和28年、水中会が完歩者に校章を型取った記念バッジを寄贈することになりました。この記念バッジは、コースごとに三色あります。勿来コース～海に隣連してコバルト、矢祭山コース～紅葉の赤。では、小山コースは、何色だったでしょう?
①

【問題12】 昭和13年～18年に15回実施された健歩会と、昭和16年～19年に毎年行われた鍛錬行軍は歩く会の前身でした。鍛錬行軍が行われる日は、毎年いつ?
①11月3日 ②11月22日 ③決まっていない

【問題13】 今年で60回目の学苑祭ですが「学苑祭」という名称となったのは?
①昭和23年 ②昭和26年 ③昭和29年

【問題14】 昭和44年、「赤頭巾ちゃん気をつけて」で芥川賞を受賞した昭和49年の講師、庄司薫氏の本校学苑祭の講演料は、いくら?
①3万円 ②5万円 ③10万円

【問題15】 明治・大正時の運動会で最も人気のあった競技「チャンピオンクラブ」とは何の競技?
①綱引き ②自転車遅乗り競争 ③野球

【問題16】 昭和15年の運動会競技でなかったものはどれ?ひとつあります。
①障害通過競争 ②手榴弾投げ ③輪回し競争 ④五人二脚競争 ⑤買い物競争 ⑥倒立競争

【問題17】 本校最後となった修学旅行は、何年?
①昭和2年 ②大正6年 ③明治43年

【問題18】 昭和40年に始まった土浦一高との定期戦は何年続いた?
①12年 ②15年 ③20年

【問題19】 全日HRが初めて行われたのは?
①昭和30年 ②昭和39年 ③昭和44年

【問題20】 戦前、野球部が甲子園出場したのは?
①昭和4年 ②昭和5年 ③昭和6年

【問題21】 2008年8月23日上映された『ラストゲーム 最後の早慶戦』では本校出身の飛田穂洲の野球に対する情熱が描かれています。さて、映画『ラストゲーム 最後の早慶戦』で飛田穂洲役を演じたのは、次のうちどれでしょう?
①石坂浩二 ②山本圭 ③柄本明

【問題22】 昭和51年夏の硬式野球大会で、本校が戦った準決勝相手校はどこ?
①鉾田一高 ②取手二高 ③土浦日大

【問題23】 1924年アムステルダムオリンピックの銀メダリストの本校出身米山弘氏は、何部だったでしょう?
①卓球部 ②籠球部 ③水泳部

【問題24】 昭和7年頃、職員室で売られていたものは?
①アンパン ②にぎりめし

【問題25】 昭和48年当時、購買部で売られていた焼きそばパン、野菜パン、コロケパンは、どこのパン屋さんが作っていた?
①元吉田の田中パン ②下市の木村屋パン ③上市の西村パン

【問題26】 65分授業が開始されたのは何年から?
①昭和36年 ②昭和40年 ③昭和44年

【問題27】 昭和49年の授業料は1ヶ月いくら?
①900円 ②1,900円 ③3,600円

【問題28】 本校クイズ研究会が全国高等学校クイズ大会で優勝したのは第何回?
①8回 ②12回 ③15回

【問題29】 歩く会が二年連続中止となった年は?
①昭和30、31年 ②昭和40、41年 ③昭和50、51年

【問題30】 明治15年、本校第一回卒業式の卒業生は何人?
①3人 ②13人 ③23人

【問題おまけ】 130年間で本校卒業生はおおよそ何人?
①約2万4千人 ②約3万4千人 ③約5万4千人

ごあいさつ

前校長 五味田 優



本校で授業と部活動に明け暮れていた30代半ばから40代の頃を思い出しますと、充実はしていましたが、その後15年間の急激な変化に対し

て、あまりものを考えていなかったなと感じます。校長として着任した時、変わらない本校の在り方に安堵感を覚えると同時にこのままで良いのかという疑問もありました。そんな本校の今後の在り方を考えていくため、生徒諸君にはできるだけ水戸一高の良さを見てほしいということを最初の集会で話しました。

その後3年間の生徒諸君の活動は、能力の多様さと高さを十分に発揮し、みごとにまとめたと思います。多様な相互の力を認め合い、切磋琢磨しながら自己を伸ばし合える、そんな集団であることを実感することができました。この良質な集団を、さらに学校という組織として良質のものにしていくということが私の役割であったと感じます。幸い、先生方の一定の理解を得、いくつかの枠組みの変更を実施しました。知道会の皆様には、この点についても温かく見守っていただき感謝しております。

校長最後の年に、創立130周年記念事業を実施していただきました。生徒諸君は、本校の歴史と伝統や卒業生の皆様の母校に寄せる熱い思いをしっかりと受け止めてくれたと思います。今後とも、知道会の皆様のご理解とご支援を賜りまして、早川校長のもと、水戸一高がよき伝統を継承しつつ未来を切り拓いていくことを願い、退職のごあいさつといたします。お世話になりました。

新任のごあいさつ

校長 早川 源一



この度、五味田校長の後を受けて校長として着任いたしました。

私は、生徒として学んだ後、

本校の教員の経験もなく、本校との関係は薄いものではありませんでしたが、本校はいつも気になる学校でありました。

教員になってから今日まで、教職や行政での仕事に当たっては、常に誠意をもってことに当たることを心がけておりましたし、苦しく厳しい仕事でも、粘り強く最後まで自分なりにやり遂げるという気概で、仕事をして参りました。特に意識はしておりませんが、気がつくと「至誠一貫」「堅忍力行」の精神で働いていたのかと、今更ながら高校時代の教育の力の大きさに驚いています。

今回、ほぼ40年の年齢差のある生徒の前に立つことになったとき、本校で勤務できることに感激を覚えるとともに、将来間違いなく、それぞれの分野で大きな存在として21世紀を担っていくであろう若者の、その高校時代に立ち会えるという興奮も覚えました。

前任の五味田校長は、在任期間の3年間で、130年の本校の歴史の中でも大きな変革を実行されて、退任されました。前任者のご功績を思うと、後継者としては大変な重責を担うことになったと重圧を感じておりますが、今回の改革が本当に名実相伴うものとなって、生徒が充実した高校生活を送れるよう、本校の教職員とともに、一つ一つ着実に努力していきたいと考えておりますので、知道会の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

知道会褒賞受賞者55名

3年間の学校生活の中で文武両道に励み、部活動等で県の代表として県外大会等に出場し、本校の名声を高めた生徒に対する知道会褒賞授与式が平成21年3月1日、卒業式の後に行われた。西野知道会会長から一人ひとり褒賞と記念品が手渡された。

高橋智将君は3部門、木村駿君は2部門を兼ねる受賞であった。

所属部別の受賞者は次の通り。

【弓道部】石崎智也、菅谷隆司、富田遥香、和知茜

【水泳部】梁瀬真以

【卓球部】相田将大、安田健太郎、小野瀬慎二、柴田知彦、木下治紀

【ラグビー部】高橋雄人、三矢哲郎、青木邦明、比佐優之、岡本晃、小沼研悟、三輪一爾

【陸上部】川又優、埴真太郎

【吹奏楽部】大内美帆、石川莉帆、金澤朋美、黒澤圭貴、宮腰萌恵、村上みどり、嶋崎敬一、長岡優、川田久美子、秋山愛美、江幡知紗、丹下千嘉、所宏美、石橋里奈、芝田彩、谷田奈々子、鈴木麻紗子、寺門克弥、大内郁弥、白井丑、佐季、山本真美

【書道部】上田智大

【生物同好会】木村駿、関原数馬、会沢春佳、久野恵理香、関根さゆり、園井梓

【クイズ同好会】高星太一、飯島圭祐、高橋智将

【数学科】高橋智将

【物理科】高橋智将

【図書部】佐藤穂奈美、伊藤有人、橋本篤尚

【放送委員会】山田和幸、木村駿、中村仁和

平成21年度定期人事異動

次の方々が異動された。

() 内は教科等と本校在職年数。

1 退職

五味田 優 (校長3年)

渡部 則雄（事務室長2年）
 会沢 力（数学9年）
 川崎 幸良（体育20年）
 萩原 晃子（英語1年）
 伊澤 慶祐（英語1年）

2 転出

小田倉康家（教頭3年）山方商高校長へ
 宮内 健一（数学10年）鹿島灘高へ
 鈴木 秀（理科9年）日立北高へ
 萩原 崇人（国語5年）大洗高へ
 清水 秀一（体育14年）保健体育課へ
 山崎さとみ（事務7年）勝田高へ

3 転入

早川 源一（校長）高校教育課から
 雨谷 徳男（事務室長）日立一高から
 高瀬 宏樹（教頭）佐和高から
 橘正 宏（体育）日立北高から
 宮下 昌幸（理科）勝田高から
 磯崎 尚子（国語）日立一高から
 平野 敬靖（体育）多賀高から
 竹村 広治（数学）石岡一高から
 岡部 剛（数学）つくば工科高から
 高橋かをり（事務）盲学校から
 杉田真理子（養護）臨時

に記す。（ ）内は現役合格者数、前年との増減は△▼で示した。

○ 国立大学

北海道大	9	(7)	△ 8
東北大	28	(21)	▼ 4
茨城大	9	(7)	△ 1
筑波大	16	(13)	▼ 14
千葉大	12	(10)	▼ 1
お茶の水女子大	1	(1)	▼ 5
東京大	15	(8)	△ 5
東京外語大	7	(5)	△ 1
東京工業大	6	(5)	▼ 1
一橋大	2	(1)	▼ 3
京都大	3	(1)	▼ 1
大阪大	4	(2)	0

○ 私立大学

青山学院大	21	(12)	▼ 15
慶應義塾大	58	(32)	△ 5
上智大	9	(3)	0
中央大	56	(29)	▼ 3
東京理科大	62	(28)	▼ 15
法政大	26	(15)	△ 3
明治大	104	(58)	△ 8
立教大	43	(21)	▼ 15
早稲田大	115	(53)	△ 8

会計報告

第57期 H19.10.1～H20.9.30

第58期 H20.10.1～H21.9.30

(単位：円)

項目	第57期決算額	第58期予算額
収入の部		
年会費	9,442,000	11,000,000
卒業生入会金	1,620,000	1,600,000
寄附金収入	481,000	0
会員の集い会費	1,030,000	0
受取利息	53,705	100,000
雑収入	488,900	50,000
前期繰越金	12,975,447	90,549
収入合計	26,091,052	12,840,549
支出の部		
運営費	(11,730,083)	(10,620,000)
会員の集い費	1,779,393	570,000
会議費	143,396	200,000
事務局運営費	2,115,006	2,200,000
通信費	3,070,437	3,000,000
消耗品費	87,812	100,000
旅費交通費	147,290	150,000
渉外費	70,215	100,000
支部強化費	452,940	450,000
振替手数料	519,840	500,000
印刷費	2,877,815	2,900,000
リース料	465,939	450,000
事業費	(597,741)	(650,000)
総務委員会費	59,376	70,000
財務委員会費	20,000	20,000
広報委員会費	218,365	250,000
名簿委員会費	0	10,000
親睦委員会費	300,000	300,000
母校助成費	(809,715)	(900,000)
卒業記念品費	449,715	450,000
大会補助金	120,000	200,000
卒業生褒章	240,000	250,000
特別積立金繰入	(12,862,964)	(500,000)
予備費	(0)	(170,549)
次期繰越金	(90,549)	(0)
支出合計	(26,091,052)	(12,840,549)

入試結果と進路状況

平成21年度の大学入試において、21年3月の卒業生のうち、国公立大学に113名、私立大学に延べ437名が合格し、現役生の実合格率は69%であった。

また、実際に進学した生徒は193名で実進学率は60.5%であり、現役志向はかなり高いと言える。国公立大学の現役合格数は、昨年の125名よりやや減少したものの、東京大学へ15名（理Ⅲ2名）が合格するなど、健闘している。既卒生の国公立大の合格者数は50名であり、昨年と同数であった。また、私立大学では、早稲田・慶應の難関私大への志向が強く、早稲田・慶應の合格者が増加し、既卒生を合わせた合格者数は過去最高を更新する結果となった。

今年度の主な大学の合格者数を以下

新刊紹介

知照会事務局に寄せられた本校出身者・関係者の著作を紹介します。



進化倫理学入門

光文社新書
 740円（税別）
 内藤 淳 著
 （昭62卒）

「進化倫理学」、あまり知られていない学問分野である。人間社会が成り立つために必要な規範や道徳が個人の生き方の中でどう解釈され、それぞれの行動に作用しているのか。これまでの法哲学に進化や遺伝子など生物学の観点を交えた、新しい分野の研究をわかりやすく紹介する。「この善悪」「正しい社会とは」など議論の分かれるテーマを、すべて生物学的な「利己」で説明・納得できる、ある種「爽快さ」が残った。



余命半年

ソフトバンク新書
 760円（税別）
 大津秀一 著
 （平6卒）

「余命半年」という書名にドキッとした。不摂生を重ね、その年齢に達したからでもあろうし、また、アカデミー賞を受賞した映画「おくりびと」の原作「納棺夫日記」に続けて読んだからかもしれない。もし半年の余命を宣告されたら、どのように人生を終えるか、目をつぶっていたい死という現実はどう立ち向かっていくのか。まさに「おくりびと」のように向き合った人々を例にその心得を説く。

63年卒1回目の同窓会

昭和63年卒業生は1月3日(土) 14時から水戸市・三の丸ホテルにて卒業後初めてとなる同窓会を開催しました。

案内から開催までの期間が短かったにもかかわらず38名が出席、また、学年主任でありました伊沢慶祐先生もお越し下さり、21年ぶりの再会に話が弾みました。一人ずつの近況報告や卒業アルバムを囲んでの思い出話などで時間は瞬く間に過ぎ、幹事の山川純正君(35組)の挨拶で閉会しました。

また、開催案内の際に今後の連絡などに利用できるメーリングリストの作成希望を募ったところ多数の希望がありましたので、閉会后に作成しました。

これを活用して今後より多く同窓生が集まる機会を作れたらと思っています。

先日行われた同窓会に参加できなかった昭和63年卒業生の皆様、担当学年のこの機会に再会し盛り上がりましょう。

(河野秀幸・仲田留美・山川純正)

二七会

私達二七会は、県立水戸中学(昭24卒)と水戸一高(昭27卒)仲間の同窓会である。私達同窓生一同は、本会に限りない愛着と親しみを持っている。各々が心を開いて交わり、互いに固い絆で結ばれた縁は今後も永久不変のもの信じている。

太平洋戦争敗北の翌年、昭和21年4月に旧制県立水戸中学校へ入学した。アメリカ軍の空襲に

より廃墟と化した水戸城址に学舎はなく旧陸軍37部隊の校舎(現在茨城大)とは名ばかりで机、椅子もなく床面に座っての授業だった。その後学制改革により6・3・3制度となり、我々は最後の水戸中学生となった。3年間仮校舎での授業も終了、無事卒業し、昭和24年4月に水戸一高に編入し、水戸城址に通学となった。敗戦直後の激動、改革、物不足を乗り越えて勉学、運動等に励んだものだ。

我々二七会員は大部分が水中学生、一高生として6年間に共に学び遊んで過ごした仲間である。従って我々二七会はどの世代の同窓会よりも固く結ばれていると信じそれを大きな誇りとしている。

追記

我々二七会は水戸二七会・東京二七会の組織によって各種行事を運営し、全体のは各々幹事出席により決定している。

(昭27卒 大和田道夫)

東京知道会同窓の集い

平成21年2月28日(土)、大手町サンケイプラザで東京知道会同窓の集いが、昭和55年卒の運営のもと272名が参加し盛大に開催されました。

三ツ石浩担当学年代表幹事の開会挨拶に続き、第1部の年次総会では、小岩井忠道東京知道会会長(昭39卒)の挨拶、議案審議の後、来賓を代表して西野虎之介知道会会長(昭23卒)、五味田優校長(昭42卒)のご挨拶をいただきました。

第2部の講演では、荒川正明氏(昭55卒、学習院大学教授)が、「美術とパトロン」と題し

て、茨城県出身の陶芸家・板谷波山と、波山にとことん入れ込んだ出光佐三の物語を話しました。彼の作家活動を支えた「モノ好き」な人々の話は、大変興味深く、講演後の関連書籍の販売には黒山の人だかりが出来ました。

第3部の懇親会では、冒頭、東京知道会を通して昨年10月、母校に寄贈された「夏の母校」を描いた館英雄画伯(昭29卒)に、五味田校長から感謝状が贈られました。絵は母校校長室前の廊下に展示されています。今年も茨城より取り寄せられた地酒が振舞われ、また、スクリーンには、昨年の創立130周年記念DVDが上映され、楽しいひと時となりました。

最後に、次回平成22年2月27日(土)の再会を約束し、谷田海孝男東京知道会幹事長(昭46卒)の祝辞により「同窓の集い」は閉会し、散会となりました。

(昭55卒 保坂賢司)



水中・水戸一高 検定問題解答

- 【問題1】② 【問題2】③ 【問題3】②
 【問題4】① 【問題5】③ 【問題6】②
 【問題7】② 【問題8】① 【問題9】③
 【問題10】② 【問題11】緑 【問題12】③
 【問題13】③ 【問題14】③ 【問題15】③
 【問題16】⑤ 【問題17】③ 【問題18】①
 【問題19】② 【問題20】①② 【問題21】③
 【問題22】① 【問題23】③ 【問題24】①
 【問題25】② 【問題26】③ 【問題27】①
 【問題28】③ 【問題29】③ 【問題30】①
 【問題おまけ】②



南京近くの古い町並みで

茨城県上海事務所勤務となり、この4月から中国上海で暮らしています。事務所は平成8年に設置され、これまで企業進出の支援や中国現地の情報収集、上海を訪れる県民の皆さんのご案内などを行ってきています。

外国での暮らしはさぞ不便だろうと思っていたところ、言葉に困るほかは東京と同じでした。中国の他の地域はまだ知りませんが、さすが上海は国際都市です。

国際都市にふさわしい催しを見てきました。ニュースでも取り上げられた上海モーターショーです。新国際博覧中心という幕張

メッセのような展示場に一般公開初日（4月24日）に行くと、雨にもかかわらずものすごい人で、人気ブース近辺は歩くのがやっと。そして、何千万円もするスポーツカーや高級車が即決で買われている現場にも出くわしました。各メーカーのキャンペーンガールの前を横切ったりする人がいて、邪魔だなあと思ったらそれだったのです。何もこの場で買わなくても…。今、世界で一番車が売れている国であることを改めて感じました。中国に対しては新聞やテレビの情報などから結構固い



上海モーターショーのにぎわい

イメージがありましたが、このようなイベントの様子は欧米や日本と変わらないようです。

また、上海市内では来年5月から開催される万博に向けて今、地



いち早く姿を現してきた中国館

下鉄、道路等の基盤整備事業が急ピッチで進められています。会場には上海を縦断して流れる黄浦江という川の兩岸を使いますので、兩岸ともに工事をしていて、埃が立ち、道路が渋滞しています。川の東側にある万博の事務局を訪ねる機会がありました。事務局組織は愛知万博を参考にしているとのことですが、機能別の組織編成や準備の状況を見てみますと1985年のつくば万博が思い出されました。

それにしても、毎日過ぎるのが早いです。中国はトップが判断するとすぐに末端まで徹底するスピードがあります。そのスピードに慣れて、中国の変化をよく見ていきたいと思っています。

川又敏郎（昭49卒）
（知道会広報委員会副委員長）

第58期 知道会役員

（平成21年4月1日現在）
（◎：委員長 ○：副委員長）

顧問	総務委員会 (10名)	板橋 義則 (40)	奥野 茂雄 (44)	小林 圭子 (48)
後藤 卓三 (19)	◎中村 彦蔵 (37)	西山 良昭 (41)		小野瀬 慈 (52)
早川 源一 (46)	平山 晴雄 (40)	大金 誠 (42)	広報委員会 (7名)	君和田利智 (57)
会長	粉川 勝 (42)	後藤 克己 (43)	◎井上 操 (43)	星野 幸子 (57)
西野虎之介 (23)	○大内 常男 (43)	皆川真規夫 (45)	○川又 敏郎 (49)	黒沢 広忠 (58)
副会長	鬼沢 邦夫 (46)	勝山 文久 (45)	和田 宏 (51)	高林 憲一 (58)
八木 實 (27)	蓼沼 洋一 (46)	根本 祐一 (46)	飯村 雅明 (55)	小沢 一利 (58)
沼尻 滋 (27)	木戸 明良 (47)	○水口 二良 (47)	平山 桂己 (59)	篠原 勉 (48)
田中 功 (29)	笠原由里子 (57)	仲田 留美 (63)	瀬谷 尚男 (63)	
川又 諭 (38)	黒木 雅宏 (58)	伊藤 道子 (53)	谷越 敦子 (H1)	事務局
幹事長	三上 靖彦 (52)	黒澤 祐子 (H4)		北條 勝彦 (32)
永井 靖彦 (35)			親睦委員会 (11名)	小澤美智子
副幹事長	財務委員会 (13名)	名簿委員会 (3名)	◎木村 利 (36)	
栗原 英則 (48)	根本 兵仁 (38)	◎打越 芳男 (34)	富永 潤一 (46)	
	◎小野 邦夫 (39)	○小林 隆夫 (32)	佐藤 衛 (47)	[() 内は卒業年次]

委員会

総務委員会

母校の創立130周年記念事業は、会員の皆様方の御支援、御協力により成功裏に終了しました。特に、記念祝賀会（会員の集い）は、当初の予想を上回る600名を超える参加者を得た結果は、担当学年（S52・62・H9）スタッフの御尽力の賜であります。さて、今期の「集い」の日程も決まり、第1回実行委員会が去る4月15日に開催され、担当学年（S53・63・H10）代表との打合せで、母校140周年に向けての第一歩がスタートしました。総務委員会は、今後の知道会進化のための基盤づくりとして、知道会会則、代議員及び委員会機能の見直し等に着手しますので、皆様の御支援をよろしくお祈りします。（中村 記）

財務委員会

創立130周年記念事業関連行事も会員の皆様の多大なご援助により滞りなく終了いたしました。当委員会も新たな視点に立ち、本会の健全な財務運営を考え模索しております。百年に一度の経済不況と言われる昨今、その影響は本会にも確実に年会費納入の減少という影を落としております。この会報に振込用紙が同封されている方は今期（平成20年10月1日～平成21年9月30日）の年会費が未納となっておりますので、納入くださいますようお願い申し上げます。先にお知らせいたしましたとおり、75歳以上の会員の方がご希望された場合、年会費5年分（1万円）を終身会費として納入できるようになりました。この制度に該当される方には、終身会費の振込用紙を同封いたしました。毎年納めるか、一度で済まされるかご選択ください。当委員会の便りは、毎回年会費納入をお願いばかりになってしまいますが、皆様から頂いた浄財は1円の無駄もなく適正な執行に努めてまいりますので何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。（板橋 義則）

名簿委員会

委員会は、全卒業生を対象にして住所等の変更をご連絡頂き、その都度改訂する任務が第一です。その成果は必要な時に正確なアウトプットとして、会員相互の親睦に繋がります。すでに発行した「平成19年度版」から5年後の新版発行に向けて、ご連絡を頂いた時点で名簿の訂正を行っています。住所変更・会員の訃報などは、ご本人またはご家族からお早めにFAXまたはハガキで知道会事務局宛ご一報下さい。今回の知道会報74号には別冊で、130周年記念事業にご寄付を頂いたご芳名一覧表を同

封しました。寄付されたにも拘らず掲載されていない方は知道会事務局宛にご連絡ください。この確認が終了しますと、これを基に金額を記載した永久保存版「ご芳名帳」を作成して母校と知道会に保管します。最近、関連のない名簿会社から知道会会員名簿と「類似」の形式で「名簿予約案内」が会員宅へ郵送されていませんか。これに応じることは危険です。この種の名簿会社リストは委員会・事務局でも調査していますから、不審な売込みは契約前に問い合わせ下さい。

（名簿委員会 打越 芳男）

親睦委員会

●親睦旅行

今回は、高山まつりと合掌つくりの五箇山・白川郷方面といたしました。「秋の高山まつり」の見学を中心に、村上家住宅・白川郷集落等を巡ります。

期 日：平成21年10月9日(金)～10日(土)

会 費：29,000円

募集人員：30名 ※全行程貸切バス使用

●第6回OBミニ歩く会

今年は、石と蔵と歴史の街「真壁」コースです。筑波山麓に広がる、古い町並みを散策したいと思います。ぜひ多数の参加をお待ちしております。

期 日：平成21年9月 ※詳細は後日案内

会 費：1,000円 ※簡単なお弁当をご用意いたします

●第30回ゴルフ大会

昨年は130周年記念大会ご苦労様でした。おかげさまで無事終了いたしました。関係各位に紙面をお借りしまして御礼申し上げます。さて、今回のゴルフ大会は日曜開催ということで、平日には参加しづらい方々のご参加を特にお待ちしております。

期 日：平成21年6月7日(日)

会 場：新里美カントリークラブ

競技規程：18ホールストロークプレー、新ペリア方式

参 加 費：4,000円

プレー費：11,500円/人（昼食、1ドリンク、カート含む）

キャディーをご希望の方は別途料金（3,150円/人）

申込み・問合せ 知道会事務局へ（月・水・金）

TEL 029-226-3960 FAX 029-226-4157

物故者（H.20.3.26～21.2.23）

昭4	井坂 英司	昭17	永井 正男	昭25	坂本 章	昭36	長谷川 勇人
昭4	平戸 義徳	昭18	照沼 光正	昭25	菊池 宏	昭38	笹沼 清彦
昭4	高辻 博	昭18	星野 久	昭25	平出 庸夫	昭39	荒井 洋
昭5	平野 正男	昭19	飯島 正就	昭26	丸山 保之	昭39	佐藤 忠
昭8	高橋 惟元	昭20	飯村 甚之助	昭26	桜井 増朗	昭39	渡辺 勉
昭9	森田 美比	昭20	久野 昇司	昭27	小坪 久士	昭40	関根 憲一
昭10	西野 恒郎	昭20	荘司 武弘	昭28	井戸 彪	昭41	内山 博司
昭10	奥野 泰雄	昭20	中西 慶文	昭28	石井 亨	昭41	飛田 勝秋
昭11	入江 博	昭20	藤村 寧	昭28	高瀬 徹	昭41	皆川 守
昭11	神永 良平	昭20	船越 敬治	昭29	荒川 哲也	昭41	高倉 伴介
昭11	馬上 脩二	昭20	柳沢 雅一	昭29	今泉 廣毅	昭42	和田 一郎
昭12	海老根 昇	昭21	(鴨川) 小松崎 亨	昭30	橋本 政雄	昭45	加部 東忠正
昭12	梅原 弘資	昭21	三田寺 高裕	昭30	石原 勉	昭46	和田 亮彦
昭12	小瀬 幸男	昭22	長谷部 治	昭30	浅野 浩	昭47	本田 順一
昭12	佐藤 進	昭22	村松 進	昭30	増田 泰彦	昭54	(嵯崎) 田部 睦子
昭13	大貫 周美	昭23	大里 幹彦	昭31	福田 稔	昭58	佐々木 洋朗
昭14	石川 良平	昭23	小泉 雄一郎	昭32	鶴田 治樹	昭59	津賀 浩史
昭15	日置 正義	昭23	石橋 彬	昭32	菊池 英孝	昭61	(黒澤) 佐藤 真由美
昭16	(清水) 池垣 武郎	昭24	掛札 寛	昭33	河田 貞之		
昭16	柴山 剛介	昭25	江原 次男	昭33	山本 勝一		
昭16	野中 和郎	昭25	植田 弘一	昭33	青木 望		

【事務局だより】

◇記念品がお手元に届いておられない方はいませんか？

ご寄付を頂いた方々に漏れなく「CD」（歴史背景の中に、水戸一高吹奏楽団演奏で校歌・応援歌を録音）を送付しました。ご寄付頂いた方の中に、振込時にお名前までインプットされていない方が数名おられました。また、同封の寄付者名簿で脱落されておられる方、または、寄付されたにも係らず、まだ「CD」が届いていない方は、知道会事務局までご一報下さい。（卒年・ご氏名・送付先を明記してFAXまたはハガキでご連絡下さい）

◇記念品の特別配布（有料）を行います。6月1日から数量限定100セット完売まで。

寄付募金期間に乗り遅れた方々の為に、及び「CD」以外の記念品をご希望の方々の為に数量が限定されますが、販売いたします。「CD」¥1,000円、「水戸一高年表（53年から）」¥1,000円、「絵葉書（9枚セット）」¥500円、何れも送料込みです。（直販は送料分として10%を差し引きます）

◇星見ひろ子さん（事務局員）がこの3月で退職しました。

20年間に亘り知道会の発展に寄与してくれました。後任は小澤美智子さんという卒業生のお母さんです。よろしくお祈りいたします。

